

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 公開特許公報(A)

(11) 特許出願公開番号

特開2006-274109

(P2006-274109A)

(43) 公開日 平成18年10月12日(2006. 10. 12)

(51) Int. Cl.	F 1	テーマコード (参考)
<b>C 1 O M 173/02</b> (2006. 01)	C 1 O M 173/02	4 H 1 0 4
<b>C 1 O M 159/18</b> (2006. 01)	C 1 O M 159/18	
C 1 O N 10/12 (2006. 01)	C 1 O N 10:12	
C 1 O N 20/00 (2006. 01)	C 1 O N 20:00	Z
C 1 O N 30/06 (2006. 01)	C 1 O N 30:06	
審査請求 未請求 請求項の数 12 O L (全 13 頁) 最終頁に続く		

(21) 出願番号	特願2005-97248 (P2005-97248)	(71) 出願人	502169478 財団法人岡山県産業振興財団 岡山県岡山市芳賀5301番地
(22) 出願日	平成17年3月30日(2005. 3. 30)	(74) 代理人	100075960 弁理士 森 廣三郎
		(74) 代理人	100114535 弁理士 森 寿夫
		(74) 代理人	100113181 弁理士 中務 茂樹
		(72) 発明者	柴原 隆志 岡山県岡山市理大町1-1 岡山理科大学 理学部内
		(72) 発明者	坂根 弦太 岡山県岡山市理大町1-1 岡山理科大学 理学部内
		最終頁に続く	

(54) 【発明の名称】 潤滑剤及びそれを用いた機械又は装置

(57) 【要約】

【課題】 金属錯体の溶解した水溶液からなる、潤滑性及び難燃性に優れた潤滑剤を提供すること。

【解決手段】 モリブデン及びタングステンから選択される少なくとも一種の遷移金属原子と硫黄原子とを含有し、かつ前記遷移金属原子と前記硫黄原子とが直接結合してなる錯体が0. 1~20重量%溶解した水溶液からなる潤滑剤とする。当該錯体が、複数の前記遷移金属原子同士が硫黄原子で架橋されてなる中心骨格を有する多核錯体であって、中心金属原子にアミノ酸が配位したものが好適である。また、相互に接触する可動部分及びそれを覆う容器を有し、該容器の内部に前記潤滑剤が封入されてなる機械又は装置が好適な実施態様である。

【選択図】 図1

